



Library News

渋川女子高校図書館
2026年度第6号
11月11日発行

ビブリオバトル出場者、「得るものが大きかった！」と、充実感でいっぱいです！

校内で立候補してくれた１年生が、ビブリオバトルに出場し、自身最高のプレゼンテーションをしてくれました！当日のあまりの出来の良さに私と同行した小見先生も大絶賛！勇気を出して出場した人にしか味わえない成長ぶりを、ここで語ってもらいます。

Q 出場しようと決意した理由を教えてください。

A 今大会に出場することでプレゼン力を鍛えるとともに、ビブリオバトルに向けての練習などの、努力を培うという経験を通じて得るものがあるのではないかと思ったからです。

Q 発表の準備や当日の発表をとおして、今回の経験はあなたのこれからにどのように活かせそうですか？

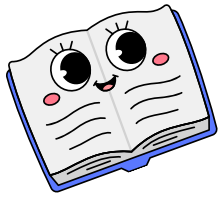
A これから直面するであろう入試の面接やプレゼンなどにおいての表現力として生かすことができ、そして、何より努力することの大切さが実感できるため、これから直面する様々な出来事に生かせると思います。

Q 大会全体の感想と、ビブリオバトルの魅力を教えてください。

A 大会では私以外にも各地域の様々な学年の人が来ており、人を惹きつける発表の仕方などが参考になる他にも、発表する人、一人一人に個性が出ていてとても面白いです。また、自分の好きな本、興味のある本、読んでみたい本を発見できるのがビブリオバトルの醍醐味です。ビブリオバトルは努力した分だけ得るものがあります。私はビブリオバトルに参加してよかったと本当に思えました。

Q 改めて、今回紹介した本を渋女生にここで簡単に紹介してください。

A 今回紹介したのは『アルジャーノンに花束を』という本です。主人公のチャーリーという知的障害を持った男性が手術を受けて天才になるという話です。この話は人の人生を綺麗にまとめられた話となっており、どんな人にでも刺さる内容になっているのですが、特に周りの環境の嫌なところばかりに目がいってしまう人にお勧めできると思います。非の打ち所がないくらいに深いお話になっているので、新たな物事の捉え方が見つけられるはずです。



何かに挑戦するということは、得るものが必ずあるということですよね！
私も高校生の時にいくつか挑戦したことがあります。その経験は今でも糧になっているように感じています（何十年も経っているのに！）。
今回の出場者の「努力した分だけ得るものがあります。参加してよかったと本当に思えました」という言葉、心に響きますね、刺さりますね。出場した生徒さん、ありがとうございました！